

保護者の皆様へ



子どもたちを‘いじめ’から守るために

栃木市教育委員会

毎年、市内全小中学生を対象に、いじめについての無記名アンケートを実施しています。また、昨年度から“あったか栃木”いじめ防止子どもフォーラムを実施しています。

これらをもとに、いじめの未然防止、早期発見、早期対応に向けて、保護者の皆様をお願いしたいことについてまとめてみました。いじめのない学校づくりのために、御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

いじめアンケート結果、“あったか栃木”いじめ防止子どもフォーラムから言えること

アンケートからこんな傾向が見られました。

- いじめは「悪口」が最も多く、次に多いのは「叩く蹴る」である。
- いじめは同級生から受ける場合が最も多い。
- いじめは学校以外の場所でも起きている。
- いじめを受けたら、「先生」「親」「友達」に話している児童生徒が多い。特に低学年・中学年は「親」に話している割合が高い。
- いじめは解決したが、「苦しい」や「不安」と感じている児童生徒がいる。

いじめを未然に防いだり、早く発見したりするためには・・・

“あったか栃木”いじめ防止子どもフォーラムの中で出された保護者の皆様からの意見です。

- 保護者として、しっかりと子どもと向き合えるように努力したい。
- 子どもたちの話をよくきくようにしていきたい。
- 子どもたちに、いじめを乗り越える力をつけてほしい。

ぜひ、子どもたちを温かく見守ってね。



“あったか栃木”いじめ防止子ども直言文（親へのお願い）

「お父さん、お母さん、私たちの小さな変化に気づいても私たちが信じて、そばにいてください。」

保護者の皆様をお願いしたいこと

<相談>

- ①子どもたちの様子に変化が見られたときは、まず気持ちを受け止め、担任の先生（学校）に相談しましょう。
- ②周囲の大人に伝えることで解決に繋がることを伝えていきましょう。
- ③「いつもあなたのことをみているよ」とアピールしていきましょう。

<共感>

- ①子どもたちを、いじめをしない子に育てるために、相手の気持ちがわかる「共感力」を育てていきましょう。
- ②親子の会話の中で、保護者の皆様が優しい言葉かけのモデルになりましょう。
- ③身の回りで起きているいじめを、自分の問題として考えられる子どもたちに育てていきましょう。

<連携>

- ①保護者と周囲の子どもたちの情報提供が、いじめの早期発見への重要なポイントです。情報を共有しましょう。
- ②スクールカウンセラー等の専門家との面談を積極的に取り入れましょう。

おわりに

栃木市では、平成27年に策定しました「栃木市いじめ防止基本方針」を改定予定です。これからも、基本方針をもとに、いじめ問題へは、学校、家庭、地域が連携・協力して、取り組んでまいります。

もしお子さまのことでお困りのことがあれば、学校もしくは「栃木市あったか電話」にご相談ください。

気軽にご相談ください。

栃木市あったか電話

TEL 0282-21-2478

平日 8:30~17:15